



abc RIDE

ニュースレター 2011 No 2

abc RIDE 事務局 12月20日発行

今年も後わずかとなりました。大震災、原発事故と大変な年でしたが、NZ ツアーも終わった気の緩みから風邪をこじらせてしまいました。せめてニュースレターの発行をと思いPCに向かったら金正日総書記死去のニュース、激動の年明けの予感です。さて、この1年を振り返り、恒例となった長嶋温泉での新年会・総会のご案内(日程のみ)です。飲みながら、食べながら、NZ 報告、来年の日豪親善ライドについて、それぞれの夢を語り合ひましょう。

NZ ツアー無事終了

皆さん、改めまして無事帰国のご挨拶です。11月17日には早朝にもかかわらずお見送りありがとうございました。今回は河合、山本がお抹茶を用意、ミニ会席とか茶筌捌きに挑戦、差し入れのお菓子はそのとき楽しんでいただきました。また、留守本部の水野さん、梅ちゃんお気遣いありがとうございました。今回のツアー最大の特徴は、ツアーを請け負ったワイマヌサイクリング会社の社長夫妻が2台のミニバス(13人乗り、自転車・荷物用トレーラー付)を運転。ほとんどの食事を二人で用意してくれたこと。また、雨の日のバス観光などのサービス。クライストチャーチでは再会祝いやお別れ会まで付き合ってくれました。日本人9名、オージー13名、キーウイ2名、合計24名が寝食を共にし、NZの美しい大自然を満喫した2週間でした。



なお、クライストチャーチ大震災(2/11)の爪あとは今なお厳しく、市の中心部はフェンスで囲われ立ち入り禁止区域。しかし、帰る前日の12月4日(日)、立ち入り禁止区域の一部が解放され、大聖堂広場まで入ることができました。倒壊寸前の教会、その隣には崩壊した鐘樓の瓦礫の山。クライストチャーチのシンボルだった大聖堂の変わり果てた姿に息を呑みながら黙禱。クライストチャーチそして東日本、がんばって! がんばるぞ! とこころの中で叫びました。

友人の石堂さん宅でご馳走になり、宿舎のYMCAまで送っていただいた折、財布にあったオーストラリア紙幣、110ドルを寄付に託しました。(※今回日豪メンバーに協力いただいたTri4JapanのTシャツ代金の立替分がオーストラリアドルで財布にあったので。その後石堂さんからメールがありましたので紹介します。

★山本先生、ご無事にご帰国良かったです。先生方のパワーには脱帽です。皆さん本当にすごいですね。お預かりした寄付金は、市役所に届け、「日本とオーストラリア人共同の自転車ニュージーランドツアーのグループから」という事でお渡ししておきました(12/8)★



ところで、今回のNZツアー、大変残念だったのは真知さんの転倒事故。24日、レイルトレイル最終日。ゴール到着後、皆で周遊ライド中、不用意な急ブレーキでスリップ。右肩から突っ込んでしまう。真知さん「私、骨粗しょう症だから」と健気な冗談を言いつつも、骨折の心配。クリニックから隣町の病院へ。レントゲン診断の結果は・ひび。6週間程の安静が必要となった。ライドは無理。旅を続けるか単独で帰るか。途中で医者に見せる必要もないことから、彼女はバスの旅をつづけることになる。新しいつらい旅が始まった。しかし、ドライバー、キャロラインとの英会話レッスンの始まりと受け止め、行く先々で私たちを拍手で迎えてくれた。真知さん、ありがとう。

<後日談その1>29日、ハースト出発直後、2回もパンク。気がついたらタイヤもバースト。万事休す。リチャードが自分の予備タイヤを貸そうといってくれたがサイズが合わない。諦めたとき、真知さんが私の自転車を使ってとありがたい申し出。おかげで西海岸は彼女の愛車で完走することが出来ました(山本)。

<後日談その2>真知です。旅行中は大変お世話になり有り難うございました。帰国後すぐ病院へ。レントゲン映像はNZのそれよりもピシピシとひびが入っているように見えました。三角布は必要で、肩に力が入る動きをしてはだめだと言われました。しばらく通院、リハビリすることになりました(12/8)。

ところで海外での事故、気になるのが医療費です。真知さんの場合、病院はダダ。NZは旅行者も含め事故で負傷した場合、ニュージーランドの事故補償制度(ACC)が適用されるのです。不幸中の幸いでした。

新年会・総会の日程について

恒例となった長嶋温泉・和泉荘での新年会・総会のご案内です。日程のみ確保下さい(山本の都合最優先で決定)。

日 時 2012年1月22日(日)~23日(月) 新春ライドで現地へ。ライド集合場所・時間は未定